

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校版)

	実践名(実践年度)	アプリを活用した栄養バランスの学習(平成30年度)
参加する授業について	<b>教科名等</b> (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。) <input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )	
	<b>単元・題材名</b> 食物と栄養「栄養のバランス」	
	<b>授業の目標</b> ・栄養バランスを考えながら朝食の献立を選ぶことができる。 ・自分の選んだメニューについて発表することができる。	
	<b>観点別学習状況の評価の観点</b> (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。) <input checked="" type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )	
	<b>自立活動の要素</b> <input checked="" type="checkbox"/> 健康の保持 <input type="checkbox"/> 心理的な安定 <input type="checkbox"/> 人間関係の形成 <input type="checkbox"/> 環境の把握 <input type="checkbox"/> 身体の動き <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション	
学習(集団)の実態	<b>学部・学年・人数</b> <input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 高等支援学校・2学年・1クラス(10名)	
	<b>対象の障害</b> <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input checked="" type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他	
子どもの実態	<b>子どもの課題(特性・ニーズ)</b> <input type="checkbox"/> 聞く <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 計算する <input checked="" type="checkbox"/> 推論する <input checked="" type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input checked="" type="checkbox"/> 多動性 <input checked="" type="checkbox"/> 衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> 時間的・空間的・人的交流の制約 <input type="checkbox"/> その他 本校は軽度の知的障害のある生徒を対象とした学校で、基本的な日常会話、日生活は問題なく行えるものの、早寝早起き等の規則的な生活リズムの確立が課題となっている。食事は保護者に任せきりの生徒もいれば、家庭での調理を担当しているが栄養バランスが偏っている生徒もいる。学習面では読み書きに苦手意識のある生徒もあり、授業を50分間集中する事や、自分の意見を大勢の前で発表する事を苦手とする生徒もいる。スマートフォン所持率が高く、授業でIpadを操作し調べ学習をすることは好きな生徒が多い。	
ICT活用について	<b>使用した支援機器・教材の名称</b> (使用した支援機器・教材の名称を記載。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。) Ipad(生徒用:10台、師範用1台)、大型テレビ、コネクター 使用アプリ「食育の授業—朝ごはん編—栄養バランスが学べる授業アプリ」 「Powerpoint」(教師が説明時に使用)	
	<b>活用のねらい(概要)</b> A コミュニケーション支援(□A1意思伝達支援 □A2遠隔コミュニケーション支援) B 活動支援(□B1情報入手支援 □B2機器操作支援 □B3時間支援) C 学習支援(□C1教科学習支援 □C2認知発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> C3社会生活支援) 栄養バランスの学習は、料理に使われる食材を理解しそれぞれの食材の栄養素の名前や働きまで覚えて理解する必要があるため、記憶力・思考力ともかなり必要とされ、生徒の多くが苦手とする内容となっている。 当アプリでは写真のメニューを選択すると、栄養バランスが6つに分かれて食品の写真で表示され、足りない栄養は空欄になるため、栄養のバランスが視覚的に分かりやすい。そのため、生徒もバランスを見直し、メニューを選びなおす行動へつながりやすくと考える。南女学院大学栄養学科で小学校での使用を目的として開発されたもので、理解力や機器の操作能力が生徒の実態に近く学習に活用できると考えて取り入れることとした。また、オフラインで使用できるためネットワーク環境が良くない場所でも使用できることも利点である。	
	<b>活用方法</b> <input type="checkbox"/> 授業は理解度や集中力等、各生徒の実態に配慮しながら進めた。 1. PowerPointで一斉説明 2. ワークシートで献立選択 3. 各自アプリを操作し栄養バランスの確認 4. 献立の見直し 5. 理想の献立をワークシートに記入 6. 一人ずつIpadをテレビへ接続し、献立と感想を発表 <input type="checkbox"/> 工夫したのは以下の4点。 1. ワークシート:事前にメニューを選択。アプリは写真だけだったため文章で追加表示し、言葉と連動させながら選ばせるようにした。(図1) 2. PowerPoint: アプリの操作や、ワークシートの記入例をスクリーンショットを見せながら説明を行う。 3. アプリ操作:一人での操作に自信がない生徒は友達とペアを組ませ、相談しながら取り組ませた。 4. 献立づくり:生徒の実態に応じて目標レベルを「3色に分ける」「6栄養群に分ける」の2段階に設定。	
効果・評価	<b>ICTを活用した授業での子どもの様子や変容および授業の評価</b>	(成果)どの生徒も関心を持って授業に取り組んでいた(写真1)。はじめに選んだメニューのバランスを改善しようと試行錯誤しながら献立作りに取り組んでいた。友達同士でIpadの画面を見せ合いながら協力して取り組む様子も見られた(写真2)。 (生徒の感想)「朝食を食べる時はいつも考えていないから次からはバランスを考えてから食べるようにする。」「自分がバランス良く食べることが難しいことが分かりました。」「理想的なメニューは簡単そうで意外と難しかったです。」「栄養のバランスの勉強をして、いつも食べている朝ごはんはカロリー・ビタミン・炭水化物しかとってないので、次は栄養を取るように頑張りたいです。」 (課題)アプリの内容として、浅漬け等は普段食べる生徒が少ないように感じる。沖縄ならではのメニューがあると生徒の実生活により近くなる。(例:具だくさんの味噌汁やチャンプル、ポーク卵おにぎりなど)
資料	<b>図・写真・表等</b> (生徒の写真は個人情報公開の確認を取っているものとする。)  図1 ワークシート	 写真1 授業の様子(各自でIpadを操  写真2 授業の様子(Ipadを見せ